

牟岐だより 校訓「愛知・自治・敢為」 82名のみんなと保護者の皆様へ

発行日10月 2日

発行者 校長 三浦恵子

今年の牟岐中祭は、「すべてがつながる瞬間がある 牟岐中 2017」のテーマのもと文化祭、体育祭の順に実施し、たくさんの方々にお集まりいただき、盛況に終えることができました。子どもたちは、2学期に入り、行事から始まり・授業・部活・陸上練習などと盛りだくさんの中、気持ちの切り替えをしながら、時間を確保して、牟岐中祭の準備をしてきました。そして、積み重ねてきたことがらをいろいろな形で思いっきり表現し、想いを伝えることができました。元気で、力いっぱい取り組む姿は、たくさんの保護者・地域の方々に感動と元気を与えることができたのではないのでしょうか。

P T Aのみなさんにも大変お世話になりました。文化祭での伝統のバザーとP T A会長さんを中心とした合唱、そして、体育祭での各種競技への参加、本当にありがとうございました。全力を傾け、82人が一つにつながりそして、子どもたちを支える保護者のみなさん、そして地域の方々のすべての力を一つに結集させることができた牟岐中祭であったと思います。特に3年生の頑張りは2年生・1年生に受け継がれ良き伝統になると信じています。本当にありがとうございました。

10月2日の朝会の話から



4月から、6ヶ月たち前半が終わり、後半戦が始まります。一日一日を大切にしたい思いで、「心のスイッチ」という詩を紹介します。東井義雄（とういよしお）さんという人が書いた詩です。

人間の目は ふしぎな 目
見ようという心がなかったら 見ているも見えない
人間の耳はふしぎな耳
聞こうという心がなかったら
聞いていても 聞こえない
頭も そうだ
はじめからよい頭 わるい頭の区別があるのではないようだ
「よし やるぞ!」と
心のスイッチがはいると
頭もすばらしい はたらきを しはじめる
心のスイッチが 人間を
つまらなくもし すばらしくもしていく
電灯のスイッチが
家の中を明るくもし 暗くもするように

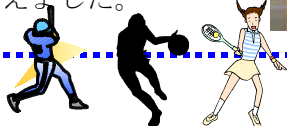
「みなさんは、たくさんのすばらしい力や、すばらしい心をたくさん持っています。しかし、それを大きくしていくためには、自分自身のやる気、すなわち『心のスイッチ』を入れることが大切です。

2学期に入り、いろいろな行事でみんなのやる気スイッチが入り、練習の成果を十二分に発揮し、すばらしい成果を収めてきました。牟岐中の良さが伝わったと思います。『勉強』もそうです。『スポーツ』もそうです。そして『思いやりの心』『やさしい心』もそうです。相手の気持ちを考えようと心のスイッチを入れなければ、その心は大きくなっていきません。

みなさん、周囲の人のアドバイスを聞き入れていますか。まずは、「ありがとう」と言ってきちんと意見を聞いてみましょう。謙虚な姿勢があれば、勉強もスポーツも普段の生活も人間的にも向上していくと思います。一人一人が心のスイッチを入れて、何事にもわくわく感をもって取り組める牟岐中生になりましょう。

頑張りました!!

9月26日牟岐町の総合文化センターで郡中英語弁論大会がおこなわれました。本校より3名が出場し、それぞれの想いを英語で伝えました。



新しく立川美幸先生が赴任

磯口先生が産休で8日からお休みに入ります。みんなで、元気な赤ちゃんの誕生を願いましょう。その後任として、立川美幸先生が来てくださいます。3年生の副担として、英語や家庭科の授業でみなさんとかかわってくれます。

応援よろしくお願ひします!!

10月12日(木) 郡中新人大会がおこなわれます。野球(蛇王)、バスケ(栄喰中)、ソフトニス(まぜのおか)、バレー(日和佐中)、剣道(牟岐中)

